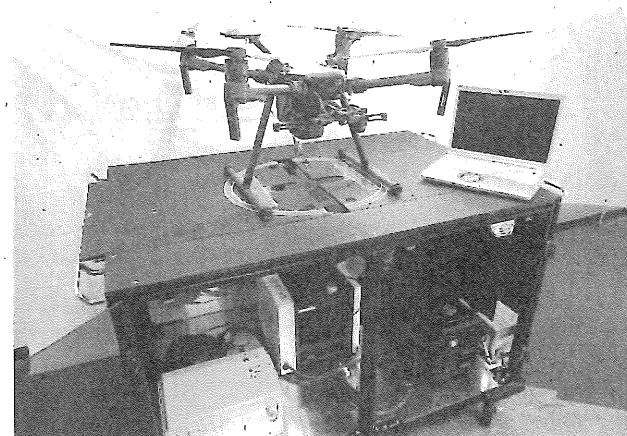


ドローン活用 風力発電機の羽根点検

【姫路】旭テクノロジー(兵庫県姫路市、幸長保之社長、079・294・0377)は、飛行ロボット(ドローン)を用いて風力発電機のブレード(羽根)を点検できる装置を開発した。飛行中のドローンに有線で電源供給する発着台を採用して飛行時間の制約をなくし、飛行高度調整の精度を向上した。ドローン点検作業を効率化できる。装置一式の消費税抜きの価格は1225万円。5月から国内の発電事業者や点検業者向けに初年度20台の販売を目指す。

点検装置は、「D-road」と呼ぶ発着台と制御システム、ドローン、画像解析ソフト、ノートパソコンなどで構成される。気象条件の影響で変動しやすいドローンや巻き取り量から飛行高度を計測、制御せず、センチメートル単位の精度で飛行高度を調整できる。また位置に止まつて自動で撮影できるため、点検時に生じやすい撮影漏れを減らせる。画像データに付加する高さ情報などを使用するため、操縦者の技量に左右されにくい。



点検装置は発着台「D-road」と制御システム、ドローン、画像解析ソフト、ノートパソコンなどで構成される。

風力発電機の羽根が100mまでの飛行が可能。全長150mの風力発電機も羽根を回転すれば点検できる。ドローンは発着台と給電ケーブルでつながり、ドローンの風力発電機も羽根を回転すれば点検できる。

【姫路】旭テクノロジー(兵庫県姫路市、幸長保之社長、079・294・0377)は、飛行ロボット(ドローン)を用いて風力発電機のブレード(羽根)を点検できる装置を開発した。飛行中のドローンに有線で電源供給する発着台を採用して飛行時間の制約をなくし、飛行高度調整の精度を向上した。ドローン点検作業を効率化できる。装置一式の消費税抜きの価格は1225万円。5月から国内の発電事業者や点検業者向けに初年度20台の販売を目指す。

点検装置は、「D-road」と呼ぶ発着台と制御システム、ドローン、画像解析ソフト、ノートパソコンなどで構成される。気象条件の影響で変動しやすいドローンや巻き取り量から飛行高度を計測、制御せず、センチメートル単位の精度で飛行高度を調整できる。また位置に止まつて自動で撮影できるため、点検時に生じやすい撮影漏れを減らせる。画像データに付加する高さ情報などを使用するため、操縦者の技量に左右されにくい。

旭テクノロジーが装置

有線給電 高精度に高度調整

位の精度で飛行高度を調整できる。高度の維持はパソコンで設定できるため、操縦者の技量に左右されにくい。

ドローンは空中の決まりで撮影できるため、点検時に生じやすい撮影漏れを減らせる。画像データに付加する高さ情報などを使用するため、操縦者の技量に左右されにくい。

ドローンは空中の決まりで撮影できるため、点検時に生じやすい撮影漏れを減らせる。画像データに付加する高さ情報などを使用するため、操縦者の技量に左右されにくい。